

平成30年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	80	学校名	静岡県立浜松商業高等学校	校長名	野部 道太
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	地震、火災、台風等の災害への対応の仕方を身に付けさせる。	避難訓練事業を年3回実施し、地区別避難方法・地震結界情報への対応方法・災害知識講座・突発的火災発生避難の実施。	<ul style="list-style-type: none"> 地域ごとの集団避難の仕方を理解する。 短時間での避難・点呼の完了。 	A	年3回の避難訓練を実施。1,2回目の訓練内容は例年どおり。3回目の火災訓練は天候等のため体育館避難とした。今後も工夫して効果が上がるように実施したい。
イ	卒業後、更に大きく成長できるよう、学力向上を図るとともに、主体的な学習態度を身に付けさせる。	各分掌・教科と連携し、最適な方法の検証を繰り返す。	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善の推進(特に評価方法) 	A	全教員で評価方法について研修を実施、検証した。また、ICTを活用した授業を実施し、主体的な学習態度を身につける効果的な学習方法も検証した。
ウ	人の命の大切さや、健康の有り難さを知ることにより、交通ルール的重要性を学ぶ。	学年集会、全校集会を行うごとに学校が安全な場所であること、交通安全の大切さを説諭する。	<ul style="list-style-type: none"> 盗難ゼロ 交通事故ゼロ 	B	スタントマンを起用して交通マナー教室を実施した。集会ごとに命の大切さを伝えたが、交通事故の件数は例年並みであった。引き続き、自己管理の大切さも含め、伝えて生きたい。
エ	生徒の多様な進路に対応できる体制を整備し、個に応じた進路指導の充実を目指し、進路実現に対する安心感を抱かせる。	進路指導室の常駐スタッフを増員し、生徒や保護者、教職員への相談体制や積極的な情報提供を行う体制づくりをする。	<ul style="list-style-type: none"> 就職希望者全員が内定を獲得できるようにサポートする。 進学希望者の進学先決定をサポートする。 	A	企業見学の申し込みをFAX送信に統一し、ファイリングすることにより情報共有がしやすくなった。また、学年部と協力し、生徒への適切な進路指導を行うことができた。
オ	コミュニケーション能力を高め、互いに尊重・信頼できる人間関係を育む。	構成的グループエンカウンターなどを活用し、生徒・教師・保護者との良好な人間関係の構築を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 入学直後や各学期の初めに、人間関係づくりのプログラムを全学年で実施し、円滑な人間関係と安心感のある学校生活を実現する。 	A	人間関係づくりのプログラムを実施して、「とても役に立った」「役に立った」と答えた生徒の割合が80.5%とおおむね肯定的であり、効果があった。来年度もより効果的なプログラムを検討したい。
カ	生徒が抱える多様な問題に対応できるように、相談しやすい環境を整え、早期に情報	教育相談室の利用を「相談室だより」等で促す。教育相談担当者が集まる機会を月1回設け、情報共有・	<ul style="list-style-type: none"> 「相談室だより」の月1回の発行。特別支援も含めて、問題を抱えた生徒に関するケース会議を早期に開催する。 	B	「いじめ・心の健康調査」の実施後に担当者で面談を行った。スクールカウンセラーとの面談も含め、学校生活を前向きに送れるようになった生徒も多数いた。

	共有し、チーム支援を図る。	チーム支援につなげる。			「特別支援が必要な生徒」の調査において、校内特別支援委員会を2回開催した。
キ	豊かな人格形成のために、知識や教養を身に付けさせる。	広報・指導・調査を通して読書習慣の定着を図り、文字・活字情報の活用を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の授業利用より促進を図る。 ・不読者をゼロに近づける。 	B	図書館の利用申請をパソコンで行うようにした結果、利用時間が大幅に増えた。不読者の対策では、原則どおりの時間での実施を目指した対応をした。
ク	教職員が意欲を持ち生徒に向き合う時間を確保するため、多忙化解消を図る。	適材適所の配置や適正な業務分担、職員間の協力体制・連携を密にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日の励行 ・会議資料の削減 ・会議時間の短縮化 ・校務の効率化 	B	資料のデジタル化を行うことで会議資料の削減、時間の短縮化ができた。 定時退勤日の励行については、おおむね達成できた。
ケ	人を大切にする「人権教育」を土台として、研修を充実させ、職員の資質向上を図る。	安心安全の日を設け、全教員が授業で人権または安心安全に関する話をする。また、観察・報告・連携・協働の再確認の機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権について再認識 ・安心安全を意識し、協力体制を確認 	A	「安心・安全の日」を実施し、意識を高めるよい機会となっている。また、意識の高まりが事故の予防にもなっている。 今後も意識向上に努め、職員全員が一丸となって「生徒のために」考え、思いやりのある行動をとることが重要である。また、「わかる授業」を基本に愛情あふれる学校づくりをしていきたい。
コ	校内の情報を安全に管理できる環境を整備するとともに、効果的に発信する。	学校 Web ページを活用し、校内の様子を外部に発信する。 緊急用メールの利用範囲を拡大するためのマニュアルを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・月に2回以上のWebの更新を行う。 ・緊急用メールの利用マニュアルの作成 ・メール登録の徹底を図る。 	A	Webの活用を推進し、定期的に更新していきたい。また、メールを効果的に活用し台風等の災害時にも的確な情報発信をすることができた。 メール活用のマニュアルは作成中である。
サ	生徒が安心して学習できる環境の整備を図る	毎月施設の点検を実施し、危険個所の早期発見と速やかな改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内における施設・設備による生徒、職員の事故「ゼロ」。 	A	施設・設備の不備による事故はなく、目標は達成できた。今年度は台風被害があり、復旧に至っていない箇所がある。経年劣化により増加する修繕費の確保が課題である。